

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第21号 平成23年7月7日

失策は失点に繋がる・・・

またもや終盤の逆転劇！！

	1	2	3	4	5	6	7	R
G	2	0	0	0	0	1	1	4
B	0	0	0	3	0	0	0	3



7/7(土)中田中央公園園野球場にて、Baywaveとのオフ・ブ・戦を行った。今日は明日に向けて投手の枚数が必要な事から、投手陣の谷間を、深沢が今期初マウンドに上がった。今日の我がチームは先攻、13:5分にプレイボールとなった。先頭は倒れ、一死となったが、後続の哲也が失策で出塁、その後二盗を決め、先制のチャンスを作った。ここで打席に入ったのが、徐々に調子が上向きになってきた祐太郎、4球目を左手1本で左前に運び一死・三塁、そして好調なコーすけが打席に入る。初球のストライクはタイミングが合わず、見逃したが、続く2球目を強振、その打球は、ライトネットに直撃の2ベースとなり、一塁から祐太郎も一挙ホームインし、初回に2点を先制した。さて、その裏の守り、先頭打者に7球粘られ、四球を献上、しかし、後続を三飛に打ち取り一死、が、後続は三失で出塁、これに動揺したのか、続く打者に四球を与え、一死満塁と一挙にピンチと化した。が、後続を三球三振に斬り二死満塁、続く打者を一邪飛に打ち取り、ピンチの場面を切り抜けた。その後は、両チームとも、出塁するも、得点に繋がれず、場面は、4回裏相手チームの攻撃、先頭打者を打ち取ったと思ったが、失策により出塁、その後は安打、失策、FCにより、この回打者一巡の攻撃で3点を喫し、逆転を許してしまった。翌5回まで深沢がマウンドに上がり、その内容は被安打2であったが、四球と失策により、現時点負け投手、が、ここで最近終盤調子の良い我がチームが目覚め始めた。この回先頭の祐太郎が初球をフルスイング、打球は左中間を破る2ベース、後続二人が倒れたが、哲也が3球目を叩き、二遊間に運び同点とした。そして最終回には、一死後シローが安打で出塁、そして、今日内野安打を一つ決めている先頭たかあきが、打席に入った。ファールボール、ポップフライと生きたり死んだりした8球目、内角低めのボールを左中間に運び、逆転打を放ち、その裏を達脇がきっちり締め、今日のゲームを勝利した。

今日のゲームを振り返って見て、これが出来ていたら、展開は、非常に楽しかったという内容は、

1. 先制が出来たのなら、中押しが出来たのなら、もっと展開は有利だったでしょう！
2. 野球は失策につき物で、メンバーがそれを補いながら戦うゲームであるが、5つは少し多い。然程難しい内容の処理による失策では無いので、この辺は、捕ってからを充分意識しよう！

そして最後に、少し悲しいプレーがあった。

勝ちに拘るのは非常に良い事だが、その内容は非常に重要視される。先の秋季区民大会時にも、代表チームの言葉に、「マナー」「振る舞い」という表現があった。言葉だけを取っても、奥が深く、非常に難しい内容、ただ、上位に行けば行くほど、勝つだけでは無い、上記2点が非常に重要になると思う。どこまでが声援で、どこからが野次という線引きは、非常に難しい。ただ、相手チームがそのような内容と感じた瞬間から、声援が野次になると思う。少しづつ力を付けているだけに、今後は、どのチームからも愛されるチームになる事も、頭の中にしっかり刻もう！

対戦相手がいてこそ、ゲームが出来るのだから・・・